



小松原中学校だより

令和6年
11月12日(火)
【第10号】

～持続可能な社会の創り手となる人間力あふれる生徒の育成へ向けて～

「小松原ブロック地区小中一貫教育合同授業研修会」実施!!

11月6日(水)の午後、お隣の大王小学校にて、本校職員と大王小職員が一同に会し、標記研修会を実施しました。この日は、まず、教職員全員で、大王小の1年3組(高崎真奈実先生:国語)、4年2組(小牧啓介先生:理科)、5年1組(堂園理沙先生:社会)の研究授業を参観させていただきました。どの授業も各先生方の様々な工夫がみられるとともに、児童の皆さんも大変意欲的に学習に取り組んでいました。近い未来の小松原中生として、大変頼もしく感じました。



その後は、3つの分科会に分かれ、研究授業における協議や今後の授業のあり方、つまり、どのような取組を小中学校が連携しながら行っていけば、子どもたちの学力を伸ばすことができるかということについて、熱心な協議を行いました。大王小の先生方も、小松原中の先生方も、「授業の改善=学力の向上」に皆本気です。生徒の皆さんも、今以上に、先生方のこの思いに応えてほしいなあと感じました。保護者の皆様におかれましては、どうかお子様への激励をこれまで以上によりよくお願いいたします。ちなみに・・・本年度、大王小と小松原中は、都城市教育委員会より「小中一貫学力向上校」に指定されております。小中連携しながら、職員一丸、頑張ります。

小松原地区青少年育成協議会 大王小・小松原中学校 PTA 合同研修会!

11月7日(木)の午後7時から本校体育館において、標記研修会が開催されました。講師は、東京都八王子市在住 浄土真宗本願寺派の布教使で、笑い療法士である赤川浄友(あかがわじょうゆう)様をお招きしました。「堀越学園の金八先生が、なぜ僧侶になったのか」と題して、ご講演いただきました。生きていく上で大変示唆に富み、様々なありがたいお話をさせていただきました。「『ありがとう(有り難う)』の反対語は、『当たり前』・・・心に沁みました。



また、この講演会に先立ち、同日4校時の時間帯にも、本校の全生徒を対象にご講演を行っていただきました。「生まれてきた段階で人は皆『勝ち組』や「幸せ(仕合わせ)とは、出会いである」など、たくさんの含蓄あるお話や言葉をいただきました。赤川様のありがたいお話に心が温かくなると同時に、真剣な眼差しで耳を傾ける本校の生徒を見て感心しました。

「こまボラ」、ボランティア・スピリット・アワード受賞!!

本校のボランティア有志団体「こまボラ」(顧問:廣山佳子先生)が、第28回ボランティア・スピリット・アワードの中学生部門において、「コミュニティ賞」を受賞しました。この賞は、全国規模のものであり、昨年度の「ブロック賞」に引き続いての快挙となりました。心からの敬意と拍手を贈りたいと思います。このような形で「小松原中」の名前が世に出ることは大変嬉しいですね。今年度も、毎日朝早めに登校し、黙々と小松の森を掃く姿や、募金活動、フードドライブの活動、先日行われた小松原地区祭りでの多様な活動など、陰日向なく実行に移す姿はまさに賞に値するものであると感じていましたが、改めてこのような栄えある賞を受賞し、喜ばしい一言です。「こまボラ」の皆さん、おめでとうございます。そしてありがとうございます。